

産業廃棄物処理計画

令和6年5月15日

青森県知事 宮下宗一郎殿

提出者

住 所 青森県八戸市北白山台2丁目6番30号

氏 名 プライフーズ株式会社
藤井 伸一

電話番号 0178-70-5559

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業所の名称 プライフーズ株式会社 五戸加工食品工場

事業所の所在地 青森県三戸郡五戸町大字切谷内字外ノ沢38-4

計画期間 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日

当該事業場に置いて現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類 食料品製造業

② 事業の規模 4,273,675千円(2023年度 出荷額実績)

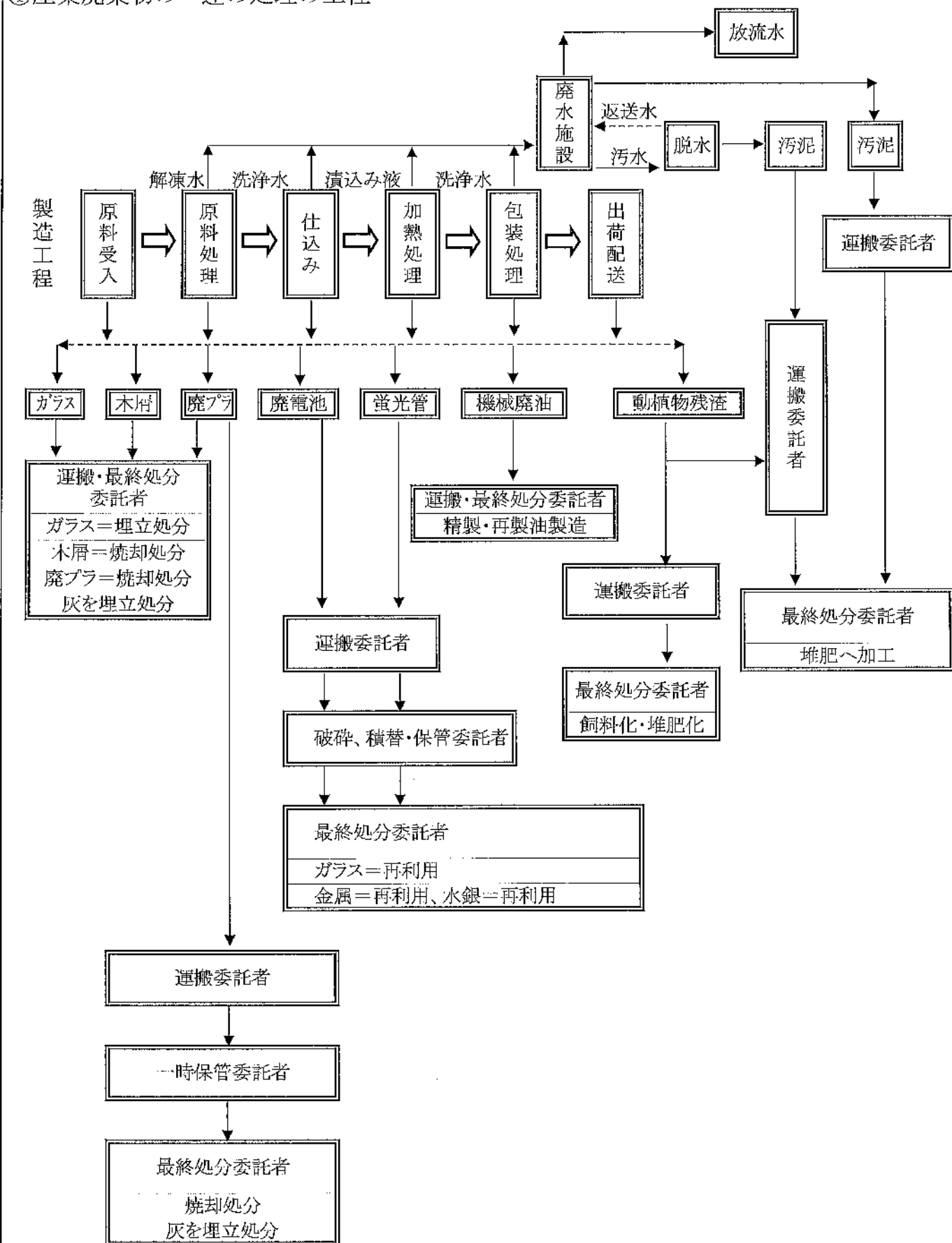
③ 従業員数 195名

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙のとおり

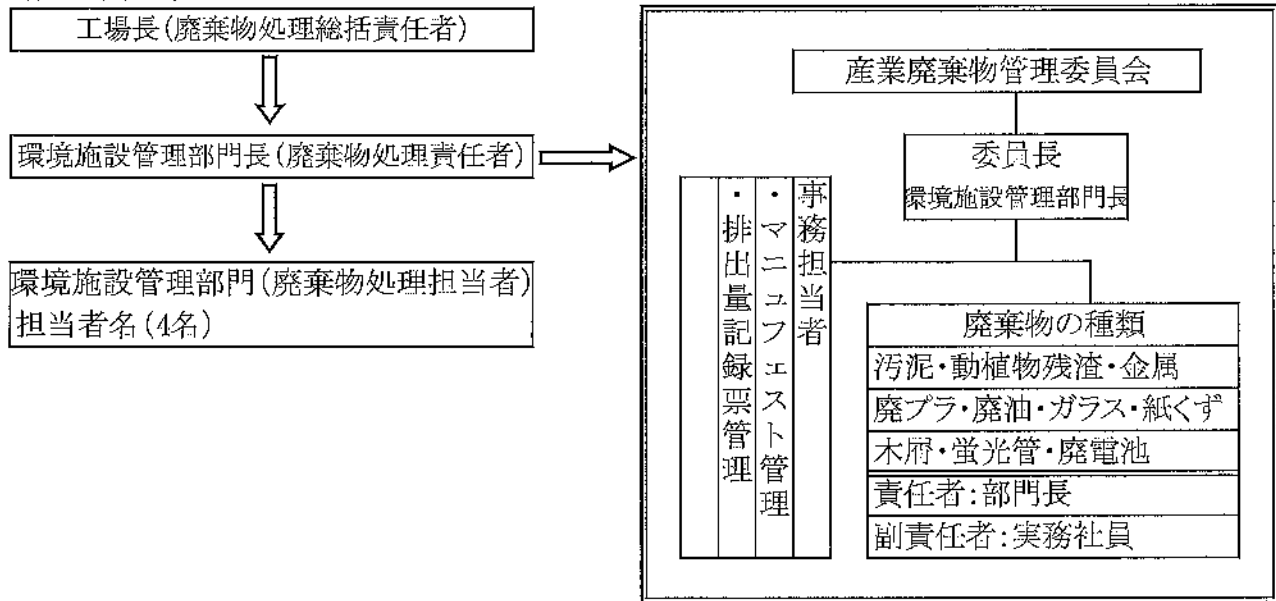


④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり	—
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり	—
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	産業廃棄物の種類:		
	①汚泥 ②動植物残渣 ③廃プラスチック ④ガラス ⑤木屑 ⑥廃電池 ⑦蛍光管 ⑧機械廃油 ⑨金属 ⑩紙くず		
	分別に関する取組		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	①新規雇用時に、一般ゴミと廃プラを分けて廃棄など、産廃の排出方法を教育している。		
	②毎日1回、産廃置場の巡視、不適切状況あれば、排出担当者ほか全員へ注意喚起と掲示(写真付き)。		
	③排出担当者の外部講習会参加。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	排出量	1,782.54	643.870
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス
	排出量	78.840	0.000
	産業廃棄物の種類	木屑	廃電池
	排出量	0.000	0.000
	産業廃棄物の種類	蛍光管	機械廃油
	排出量	0.005	0.400
	産業廃棄物の種類	金属	廃酸
	排出量	0.003	24.600
	合計	2,530.258	—
	(これまでに実施した取組)		
	①脱水汚泥:乾燥後排出。		
	②油脂分汚泥:回収後は直ぐ排出せず、水と汚泥を分離させ水抜きしてから排出。		
	③廃プラ:付着している水を圧縮機に掛けて水分を除去。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	排出量	1,693.4 t	611.7 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス
	排出量	74.9 t	0.0 t
	産業廃棄物の種類	木屑	廃電池
	排出量	0.0 t	0.0 t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	機械廃油
	排出量	0.0 t	0.4 t
	産業廃棄物の種類	金属	廃酸
	排出量	0.0 t	23.4 t
	合計	2,403.7	—
	(今後実施する予定の取組)		
	①汚泥:加圧浮上槽の稼働制限。容器に取った油脂分は、水・油脂と分離させ水抜きしたものを排出する。		
	②廃プラ:原料を解凍した袋などは、圧縮機に掛けて水分を除去。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（－年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－	－
	(これまでに実施した取組) －		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－	－
	(今後実施する予定の取組) －		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	－
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－	－
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,393.56 t	－
	(これまでに実施した取組) ①汚泥:加圧浮上槽、容器に取った油脂分は、水・油脂と分離させ水抜きしたものを排出する。 ※廃水処理の負担を軽減させるため、汚泥回収方法を変更。そのため、油脂分汚泥が増加。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	－
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－	－
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,323.88 t	－
	(今後実施する予定の取組) 汚泥:①加圧浮上槽の稼働制限。油脂ピットからの汲取りは、固型したものだけ杓子で取る。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（－年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（－年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	全処理委託量	388.98 t	643.87 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	388.98 t	643.87 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
	①汚泥:加圧浮上槽稼働制限。容器に取った油脂分は、水・油脂と分離させ 水抜きしたものを排出する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣
	全処理委託量	369.531 t	611.6765 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	369.531 t	611.6765 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
	①汚泥:加圧浮上槽稼働制限。容器に取った油脂分は、水・油脂と分離させ 水抜きしたものを排出する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃プラスチック	ガラス
	全 処 理 委 託 量	78.84 t	0 t
	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	—	—
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	—	—
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	—	—
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック:圧縮機に掛け水分を搾り出す。		
	②計画	【目標】	
産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃プラスチック	ガラス
全 処 理 委 託 量		74.898 t	0 t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量		—	—
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		—	—
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量		—	—
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量		—	—
(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック:圧縮機に掛け水分を搾り出す。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃電池
	全処理委託量	0 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	—	0.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃電池
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
	木屑:伐木した木々は充分乾燥させてから排出。 廃乾電池:充填式電池の活用		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	蛍光管	機械廃油
	全処理委託量	0.005 t	0.40 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	0.005 t	0.40 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
	2018.3 全蛍光灯をLEDへ切り替え済み		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	蛍光管	機械廃油
	全処理委託量	0.005 t	0.40 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	0.01 t	0.40 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	金属	廃酸
	全 処 理 委 託 量	0.003 t	24.6 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.003 t	24.6 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(これまでに実施した取組) 金属:分解・分別して鉄屑有価物へ		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	金属	廃酸
	全 処 理 委 託 量	0.003 t	23.37 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	—	—
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.003 t	23.37 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 金属:現状に同じ		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付する事。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。